

平成 24 年度
(第 9 期)

決算報告書

国立大学法人
長岡技術科学大学

平成24年度 決算報告書

国立大学法人 長岡技術科学大学

(単位：百万円)

| 区 分 | 予算額 | 決算額 | 差額 (決算-予算) | 備考 |
|---------------------|-------|-------|---------------|-------|
| 収入 | | | | |
| 運営費交付金 | 4,135 | 4,044 | △91 | (注1) |
| うち補正予算による追加 | — | 96 | 96 | |
| 施設整備費補助金 | 506 | 563 | 57 | (注2) |
| うち補正予算による追加 | — | — | — | |
| 船舶建造費補助金 | — | — | — | |
| 補助金等収入 | 27 | 67 | 40 | (注3) |
| 国立大学財務・経営センター施設費交付金 | 33 | 33 | — | |
| 自己収入 | 1,523 | 1,586 | 63 | |
| 授業料、入学金及び検定料収入 | 1,324 | 1,369 | 45 | (注4) |
| 附属病院収入 | — | — | — | |
| 財産処分収入 | — | — | — | |
| 雑収入 | 199 | 217 | 18 | (注5) |
| 産学連携等研究収入及び寄附金収入等 | 801 | 831 | 30 | (注6) |
| 引当金取崩 | — | — | — | |
| 長期借入金収入 | — | — | — | |
| 貸付回収金 | — | — | — | |
| 目的積立金取崩 | 149 | 197 | 48 | (注7) |
| 計 | 7,174 | 7,321 | 147 | |
| 支出 | | | | |
| 業務費 | 5,807 | 5,564 | △243 | |
| 教育研究経費 | 5,807 | 5,564 | △243 | (注8) |
| うち設備災害復旧事業 | — | — | — | |
| うち復興関連事業 | — | — | — | |
| 診療経費 | — | — | — | |
| うち設備災害復旧事業 | — | — | — | |
| 施設整備費 | 539 | 596 | 57 | (注9) |
| うち施設整備事業 | — | — | — | |
| 船舶建造費 | — | — | — | |
| 補助金等 | 27 | 67 | 40 | (注10) |
| 産学連携等研究経費及び寄附金事業費等 | 801 | 841 | 40 | (注11) |
| 貸付金 | — | — | — | |
| 長期借入金償還金 | — | — | — | |
| 国立大学財務・経営センター施設費納付金 | — | — | — | |
| 計 | 7,174 | 7,068 | △106 | |
| 収入-支出 | — | 253 | 253 | |

○予算と決算の差異について

(注1) 運営費交付金については、退職手当未使用額前年度繰越5百万円の繰入、補正予算による追加交付額96百万円の増となった一方、国家公務員と同等の給与削減相当額190百万円の

減、業務達成基準を適用した事業の前年度からの繰越額2百万円の減により、予算金額に比して決算金額が91百万円少額となっています。

- (注2) 施設整備費補助金については、改修工事費において経費節減に努めたことにより48百万円の減となった一方、前年度の大学教育研究特別整備費のうち繰越84百万円の繰入、改修工事費の追加交付額21百万円の増により、予算金額に比して決算金額が57百万円多額となっています。
- (注3) 補助金収入については、予算段階では予定していなかった国からの補助金収入の獲得に努めたため、予算金額に比して決算金額が40百万円多額となっています。
- (注4) 授業料、入学金及び検定料収入については、授業料等の徴収者数が予定より増えたため、予算金額に比して決算金額が45百万円多額となっています。
- (注5) 雑収入については、主として科研費等間接経費、特許申請支援経費等の収入増により、予算金額に比して決算金額が18百万円多額となっています。
- (注6) 産学連携等研究収入及び寄附金収入については、共同研究の獲得に努めたため、予算金額に比して決算金額が30百万円多額となっています。
- (注7) 目的積立金取崩については、申請を行った平成23年度剰余金における目的積立金が承認されたため、予算金額に比して決算金額が48百万円多額となっています。
- (注8) 教育研究経費については、経費の節減に努めたこと、また給与削減により139百万円の支出減、および目的積立金取崩における次年度以降の計画額101百万円の支出減等により、予算金額に比して決算金額が243百万円少額となっています。
- (注9) (注2)に示した理由により、予算金額に比して決算金額が57百万円多額となっています。
- (注10) (注3)に示した理由により、予算金額に比して決算金額が40百万円多額となっています。
- (注11) (注6)に示した理由等により、予算金額に比して決算金額が40百万円多額となっています。